

〒662-0088 兵庫県西宮市苦楽園 4 番町 7-1
TEL.0798-70-0656(ナレオルゴール) FAX.0798-72-0110
http://www.orgel-horie.or.jp/ E-mail info@orgel-horie.or.jp

オートマタとからくり人形

ヨーロッパにおけるオートマタの歴史は、紀元前 2 世紀にさかのぼると云われています。オートマタ (automata) とは自動機械の意味であり、語源のギリシャ語 (automatos) は「自らの意思で動くもの」という意味合いを持つ言葉です。アレキサンドリアのヘロンやビザンチウムのフィロンらは、シンプルな仕掛けではありましたが、自動装置と呼ばれるものを世に送り出した最も初期の人物として知られています。

19 世紀の終わりから 20 世紀にかけて、フランスではオルゴールと同調する自動人形作りの工房が誕生しました。有名な工房としてはヴィシー、ドウカン、ランベールなどが挙げられます。これらの工房で作られたオートマタは、彫刻、絵画、音楽、衣装、その人形の動作も含めて総合芸術と呼べるものでした。しかし、このようなオートマタの工房は第一次世界大戦を境に衰退していきます。今日、私達が当時と同じような優れたオートマタを鑑賞できるのは、ミッシェル＝ベルトランのような才能あるオートマタの復元者が現れたお蔭と言えるでしょう。

人の形を動かすというオートマタ独自の構造は、多くの人々の好奇心を刺激するものであったようです。例えば、レオナルド・ダ・ヴィンチ (1452-1519) の直筆ノート (マイクロソフト社のビル・ゲイツ氏所蔵) の中には、「動くライオンのロボット」と呼ばれるオートマタの製図が残されています。また、自動仕掛けの「笛吹き人形」を作った天才機械師ジャック・ド・ヴォーカソン (1709-1782) の作品「水を飲み、穀物をついばむアヒル」は、1738 年のパリの科学アカデミーで公開され、1805 年には、文豪ゲーテも彼の自動人形を見に行ったという記述が残されています。1977 年にスイスのピエール・ジャケ・ドロスが作った「筆写人形」と「自動演奏人形」は、スイスのヌーシャテルの博物館に展示されていますが、そのゼンマイと歯車仕掛けの組み合わせには驚嘆させられます。

日本では、からくり人形として「茶運び人形」がよく知られています。これは 1796 年 (寛政 8 年) に細川頼直によって書かれた [機巧図彙 (からくりずい)] 中のからくり人形 9 種の機械構造図の 1 つが原型です。この茶運び人形は、井原西鶴が書いた [独吟百韻] (1675) において

ゼンマイの車細工にして、茶台もたせ、
おもうかたへさし向えしに、
眼口のうごき、足取りのはたらき、手をのべて腰をかがむ、
さながら人間のごとし

という描写がなされています。日本にゼンマイ、歯車などの知識が入ってきたのは、ザビエルが 1550 年に大内義隆に献上した機械時計に因りますが、日本のからくり人形で使われた歯車は木の組み合わせで作られ、またゼンマイにはクジラのひげがあてられました。



1994 年 ベルトラン作
酔っ払いの大道芸人
当館所蔵



茶運び人形
半屋春光 組立キット
当館所蔵

夏の通常プログラム

7月～9月 Automata からくり人形の世界
毎週木曜～日曜（祝日） ①10:30 ②13:00 ③15:00
*但し20名様以上の団体は火曜水曜も開館

特別演奏会のお知らせ

ロマノフ家のオルゴール ～ニコライⅡ世とその家族の物語～

2012年7月14日(土)15日(日)16日(月祝)21日(土)22日(日)

各日 午後2時より 定員 40名程度 予約優先



ロシア最後の皇帝ニコライⅡ世とその妻アレクサンドラ皇妃にゆかりのあるオルゴールを演奏致します。ロシア革命でアメリカに渡った2台のオルゴールが当館で当時の音色を奏でます。ニコライⅡ世と家族の写真を見ながら演奏をお聴き下さい。

夏期休館のお知らせ

2012年8月13日(月)～27日(月)の期間はオルゴールのメンテナンスの為夏期休館とさせていただきます。

オルゴール博物館ニュース



春の庭園特別公開が終了致しました。今年もたくさんの方にご来館頂き、ありがとうございました。次回の庭園特別公開は、11月を予定しています。春のツツジとはまた違う、秋のもみじやドウダンツツジの紅葉を是非お楽しみ下さい。